

バッド・ガールズ (1994)

BAD GIRLS

メディア 映画

ジャンル 西部劇

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 100分

初公開日 1994/11/12

公開情報 FOX

【解説】

決してよい評判は立たなかったが、R・コーマン門下の優等生J・カプランがB級精神を大いに発揮して、スター女優4人の個性を過不足なく引き出した、娯楽西部劇の佳作だ。1890年代、西部の町エコー・シティ。コーディ（M・ストーリー）は自分の経営するサロンで娼婦の一人に嫌がらせをする軍人を射殺、絞首刑を宣言されるが、執行寸前に店の三人の娼婦＝アニータ（M・S・マスターソン）、アイリーン（A・マクダウエル）、リリー（D・バリモア）に助け出される。四人は、アニータの夫が残したオレゴンの土地の権利書を頼りに、そこで製材所をやるかと旅立つが、殺された大佐の夫人が差し向けたピンカートン探偵社の調査員に付け狙われる。そこに、かつてコーディの愛人だった強盗団のボス＝キッド（J・ルッソ）、彼に両親を殺され追っているジョシュ（D・マローニー）、気のいい保安官助手のタッカー（J・レグロス）ら男どもが絡み（いずれも好演）、いろいろあって、互いに人質を取り合っただけの決闘から最後にはキッドとコーディーの一騎討ち、とあいなる。その辺りも実に真つ当な裁きで、抑えの効いた活劇シーンを作っていて好感が持てた。女優では、ピチピチはつらつとしたバリモア（役を楽しんでいる感じが伝わってくる）もいいが、リーダーを演じるストーリーが俄然素晴らしい。マクダウエルも持ち味を出し、マスターソンはやや貧弱。潔くプログラム・ピクチュアたらんとした映画だ。

【クレジット】

監督	ジョナサン・カプラン	Jonathan Kaplan
製作	アルバート・S・ラディ アンドレ・E・モーガン チャールズ・フィンチ	Albert S. Ruddy Andre E. Morgan Charles Finch
製作総指揮	リンダ・オブスト	Lynda Obst
原案	アルバート・S・ラディ チャールズ・フィンチ グレイ・フレデリクソン	Albert S. Ruddy Charles Finch Gray Frederickson
脚本	ケン・フリードマン ヨランダ・フィンチ	Ken Friedman
撮影	ラルフ・ボード	Ralf Bode
音楽	ジェリー・ゴールドスミス	Jerry Goldsmith
出演	マデリーン・ストー メアリー・スチュアート・マスターソン アンディ・マクダウエル ドリュー・バリモア ジェームズ・ルッソ	Madeleine Stowe Mary Stuart Masterson Andie MacDowell Drew Barrymore James Russo

ジェームズ・レグロス
ロバート・ロジア
ダーモット・マローニー

James LeGros
Robert Loggia
Dermot Mulroney